



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 611 号

平成26年 9 月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645) 1 9 0 6
FAX 048(648) 1 8 6 5
E-mail: s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL: http://www.saitama-vma.org/
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三男

編集責任者 三森 信行

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

小動物臨床講習会「平成26年度集合狂犬病
予防注射実施者講習会」開催のご案内… 1
平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会
(山梨)、獣医学術関東・東京合同地区学会の
開催…………… 2
日本獣医師会ホームページ
「人材募集」コーナーの拡充について …10

予告

北支部・八日会、しゃくなげ会埼玉県支部
合同学術研修会のお知らせ……………11
西支部学術講習会のお知らせ……………11
北支部・八日会合同学術研修会のお知らせ…12
東支部学術講習会のお知らせ……………12
南第一支部・南第二支部合同学術講習会の
お知らせ……………13
北支部・八日会合同学術研修会のお知らせ…13

新入会員報告……………14

ひろば

さいたま市支部学術講習会開催報告……………15
東支部学術講習会開催報告……………15
平成26年度関東・東京合同地区獣医師会
親善チャリティゴルフコンペ参加報告…16

お知らせ

日本医師会・日本獣医師会による連携シンポ
ジウムー人と動物の共通感染症を考えるー
開催のお知らせ……………17
「彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2014」
開催のお知らせ……………19

切り抜きニュース

○殺処分ゼロを きょうから動物愛護週間
ー県が命の大切さ呼び掛けー……………20
○盲導犬刺されけが
ー埼玉で先月 器物損壊容疑で捜査ー……………20
○盲導犬 今こそ知って
ー関係者「痛くてもほえない」は誤解ー……………21
○熱帯ウイルス拡散危機
ー発達交通網が感染助長ー……………22

埼玉県獣医師会学術広報版……………25

事務局より

事務局メモ……………26

編集後記……………27

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

小動物臨床講習会 開催のご案内

—平成26年度集合狂犬病予防注射実施者講習会—

獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小1(1)、小4(9)

(公社)埼玉県獣医師会会長 高橋 三男
 狂犬病予防委員会委員長 八木 賢裕

1 開催の趣旨

動物の健康はもとより、人と動物の共通感染症対策や動物愛護等への社会的関心が高まる中で、獣医師及び獣医師会に対する社会の期待は一層の高まりを見せている。

また一方、時代や社会情勢の変化の中、特に昨今の小動物獣医療を巡る情勢は複雑・多様化し、これへの対応が喫緊の課題となっている。

そのため、動物病院の今後の方向や狂犬病及び動物愛護対策等、獣医師として必要な幅広い観点からの講習会を行うことにより、社会の期待と信頼に的確に対応した獣医療の提供体制の整備に資するものとする。

2 日時 平成26年11月19日(水)

開会 午後1時15分 (受付 午後0時45分～)
 閉会 午後4時30分

3 場所 大宮ソニックシティ 小ホール

さいたま市大宮区桜木町1-7-5
 (JR大宮駅下車 西口から徒歩3分)

4 講習

(1) 埼玉県に於ける動物行政について (1:30～2:00)

—狂犬病予防対策、動物愛護行政を中心に—

講師 埼玉県保健医療部生活衛生課

主幹 橋谷田 元 先生

(2) 獣医療を巡る情勢と今後の方向について (2:10～3:40)

—どうする・どうなる!! 時代の流れに即応した動物病院を目指して—

講師 株式会社ブイエムスリー

代表取締役社長 獣医師 氏政雄揮 先生

5 情勢報告 (3:40～4:20)

公益社団法人日本獣医師会副会長 酒井健夫 先生

日本獣医師政治連盟委員長 北村直人 先生

6 対象者

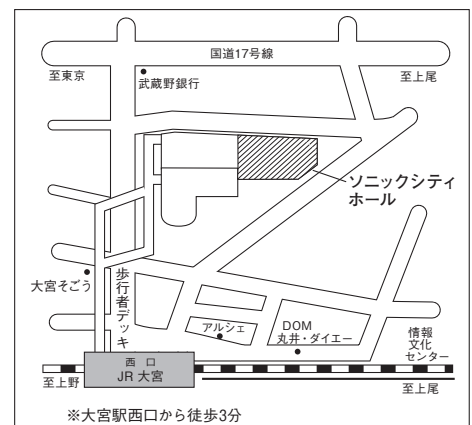
埼玉県内及び関東・東京地区の開業獣医師及び動物病院勤務獣医師

埼玉県及び県内市町村の行政関係職員(「4 講習」の(1)のみ) 約500名

7 その他

(1) 本講習会は、平成26年度日本獣医師会委託「小動物臨床講習会」及び「平成26年度集合狂犬病予防注射実施者講習会」を兼ねて開催するものですが、**集合狂犬病予防注射事業参加の有無にかかわらず講習内容に関心のある先生に於かれましては、積極的にご参加ください。**

(2) 近隣に有料駐車場はありますが、大変混雑が予想されますので、来場に当たっては、極力、公共交通機関をご利用ください。また、会場内は飲食禁止(ペットボトル 不可)です。



平成26年度

「関東・東京合同地区獣医師大会（山梨）、獣医学術 関東・東京合同地区学会」の開催

平成26年9月7日(日)、山梨県昭和町の「アピオ」において平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会、獣医学術関東・東京合同地区学会が盛大に開催されました。

厳しい暑さも漸く和らぎ、会場には700名を超える多くの関東・東京地区獣医師会関係者が集い、地区獣医師大会、獣医学術発表、市民公開講座、動物用医薬品機器の展示等が行われました。

獣医学術地区学会では、本会会員の学術発表が地区学会長賞や学術奨励賞を受賞いたしました。



大会・学会を終え交流会に参加した埼玉県獣医師会会員の皆様

前列左から 小暮一雄副会長、中村滋副会長、酒井健夫日本獣医師会副会長、砂原和文同副会長、佐藤忠敬大会会長（山梨県獣医師会会長）、高橋三男会長、斎藤章暢獣医公衆衛生学会幹事（衛生支部）、地区学会長賞を受賞した斉藤守弘先生（衛生支部）
後列左から 金子文男理事（農林支部）、三森信行理事（西支部）、油井武先生（農林支部）、曾田泰史先生（農林支部）、学術奨励賞を受賞した灰井康佑先生（団体支部）、諸角元二小動物獣医学会幹事（東支部）、福田昌治先生（農林支部）、大橋邦啓理事（北支部）、金子純高先生（農林支部）、鴻巣泰産業動物獣医学会幹事（農林支部）、山根康義理事（団体支部）、渋谷正志先生（東支部）、佐藤孝志先生（衛生支部）

平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会

地区獣医師大会は、午後1時から1階「寿の間」において開催されました。

山梨県獣医師会の宮本譲治副会長の開会宣言に続き、物故会員に対する黙祷、「獣医師の誓い－95年宣言」の朗読の後、佐藤忠敬大会会長（山梨県獣医師会会長）から歓迎と御礼の挨拶がありました。



大会で挨拶をする佐藤忠敬大会会長（山梨県獣医師会会長）
向かって右側が国の関係省庁や山梨県庁などの来賓の方々、左側が大会を主催した各獣医師会会長ら

続いて表彰式に移り、関東地区獣医師会連合会表彰規程に基づき、獣医事功績者67名が表彰されました。出席した受賞者が紹介され、受賞者を代表して山梨県獣医師会の小澤俊彦先生が、大会会長から表彰状の交付を受けるとともに謝辞を述べました。

受賞の栄に輝かれた本県会員の先生方は次の6名の皆様です。今後とも益々の御活躍を御祈念申し上げます。

獣医事功績者表彰を受賞された埼玉県獣医師会の先生方（支部順）



小堺正人 先生
（さいたま市支部）



大野 勲 先生
（西支部）



三好志朗 先生
（北支部）



原 史典 先生
（東支部）



橋本勝弘 先生
（衛生支部）



北野俊明 先生
（農林支部）

祝辞は、御来賓の農林水産省消費・安全局長（代理 畜水産安全管理課課長補佐 荻窪恭明様）、厚生労働省医薬食品局長（代理 食品安全部監視安全課課長補佐 梅田浩史様）、環境省自然環境局長（代理 関東地方環境事務所野生生物課長 荒牧まりさ様）、山梨県知事（代理 副知事 平出亘様）、日本獣医師会会長（代理 副会長 砂原和文様）の皆様から頂き、また、日本獣医師会副会長 酒井健夫様を始めとする御来賓の方々が紹介されました。

続いて、議長に佐藤忠敬大会会長を選出し、議事に入りました。昨年度の大会を担当した群馬県獣医師会の木村芳之会長が平成25年度事業についての経過を報告した後、第1号から第6号の議案が一括上程され、全ての議案が原案のとおり決議されました。これらは、直ちに大会宣言として採択されるとともに、会場に大会スローガンとして掲げられ、その早期実現に会員が邁進していくことを誓い合いました。

平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会宣言

- 1 狂犬病の恐ろしさの再認識と予防対策の重要性
- 2 伴侶動物の飼育率向上
- 3 動物を介した児童等の情操教育への支援体制の拡充・強化
- 4 マイクロチップによる個体登録の義務化と全国統一の個体認証システムの構築
- 5 公務員獣医師の処遇改善への取り組み強化
- 6 獣医師としての自覚と誇りを持った行動

平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会スローガン

- 1 狂犬病の恐ろしさを再認識し、予防対策の重要性を広めよう
- 2 伴侶動物の飼育率向上を目指そう
- 3 動物を介した児童等の情操教育への支援体制の拡充・強化を図ろう
- 4 マイクロチップによる個体登録の義務化を図るとともに全国統一の個体認証システムを構築しよう
- 5 公務員獣医師の処遇改善の取り組みを強化しよう
- 6 獣医師としての自覚と誇りを持って行動しよう

終わりにあたり、平成27年度の開催を担当する横浜市獣医師会の井上亮一会長が挨拶に立ち、開催日程を紹介して、大会は午後2時に閉会となりました。

平成27年度関東・東京合同地区獣医師大会(横浜)、獣医学術関東・東京合同地区学会の開催日程

月 日 平成27年 9月13日(日)
 会 場 パシフィコ横浜
 横浜市西区みなとみらい1-1-1
 電話 045-221-2155

市民公開講座

一般市民を対象とした市民公開講座は、午後2時15分から1階「寿の間」において開催されました。

演 題 身近な動物から感染する病気 最新情報
 ～知っておきたい家庭や学校でできる対策～
 講 師 東京大学大学院教授 山田章雄 先生

平成26年度獣医学術関東・東京合同地区学会

日本産業動物獣医学会、日本小動物獣医学会、日本獣医公衆衛生学会の関東・東京合同地区学会は、学会ごとの会場（小動物獣医学会は2会場）に分かれて午前10時から学術発表が行われました。

各会場では地区学会長の挨拶の後、昼食と獣医師大会を挟み、午後4時まで74題の研究発表が行われ、本県からは各学会2題、計6題が発表されました。（別掲）

審査員や座長を務められた地区学会幹事の先生方

産業動物獣医学会



鴻巣泰先生
(農林支部)

小動物獣医学会



諸角元二先生
(東支部)

獣医公衆衛生学会



斎藤章暢先生
(衛生支部)

地区学会優秀発表者表彰・交流会

各学会の発表終了後、午後5時15分から1階「寿の間」において優秀発表者の表彰式並びに交流会が開催されました。

まず、大会会長の佐藤忠敬山梨県獣医師会会長が、多くの会員参加の下で大会・学会を盛会裡のうちに終了することができたと感謝の言葉を述べられました。酒井健夫日本獣医師会副会長の挨拶の後、各地区学会長からは優秀発表者の選定に当たっては、優劣つけ難いなかで慎重に審査したことが報告され、地区学会長賞と学術奨励賞の発表並びに賞状授与が行われました。

最優秀となる地区学会長賞には、多くの発表の中から産業動物獣医学会2題、小動物獣医学会2題、獣医公衆衛生学会2題が選定され、本県からは獣医公衆衛生学会で斎藤守弘先生（衛生支部）が地区学会長賞に輝きました。

また、小動物獣医学会では灰井康佑先生（団体支部）が学術奨励賞を受賞しました。

表彰式に続く交流会は、大会副会長の村中志朗東京都獣医師会会長の乾杯の音頭で懇親に入り、参加した約230名の会員は和やかな雰囲気の中、交流を深めておりました。

お忙しい中、発表いただいた先生方には大変お疲れ様でした。また、レベルの高い発表の中から選ばれ受賞された発表者並びに共同研究者の皆様には誠におめでとうございます。

来年2月13日（金）から15日（日）には岡山市で日本獣医師会獣医学術学会年次大会が開催され、地区学会長賞を受賞した演題は「地区学会長賞受賞講演」として発表いただきますので、多くの皆様の御参加をお待ちしております。

平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会、獣医学術合同地区学会の参加者（埼玉県獣医師会）

支部名	開業支部	衛生支部	農林支部	団体支部	事務局	合計
参加者数	22人	4人	7人	5人	4人	42人

平成26年度獣医学術関東・東京合同地区学会 発表演題

∞∞∞日本産業動物獣医学会(関東・東京)∞∞∞

白井淳資地区学会長（東京農工大学農学部教授）のもとで22題の発表がありました。
本県からの発表は次の2題です。

演題名：牛B群ロタウイルスに関する成牛下痢症マルチプレックス RT-PCR 法の再検討
発表者：曾田泰史（埼玉県中央家畜保健衛生所）

演題名：県内養豚場における *Cryptosporidium* の分子生物学的手法を用いた疫学調査
発表者：油井 武（埼玉県中央家畜保健衛生所）

産業動物獣医学会での発表者



曾田泰史先生
(農林支部)



油井 武先生
(農林支部)

∞∞∞日本小動物獣医学会(関東・東京)∞∞∞

亘 敏広地区学会長（日本大学生物資源科学部教授）のもとで33題の発表がありました。
本県からの発表は次の2題で、灰井康佑先生が学術奨励賞を受賞しました。

演題名：手術用顕微鏡下で造袋術を行った脊髄クモ膜嚢胞の犬の2例
発表者：灰井 康佑 ほか(とがさき動物病院)

演題名：プレガバリンにて良好な疼痛の軽減が得られた変性性腰仙椎狭窄症の猫の一例
発表者：北宮 絵里 ほか(あさか台動物病院)

小動物獣医学会での発表者



灰井康佑先生
(団体支部)



北宮絵里先生
(団体支部)

∞∞∞日本獣医公衆衛生学会(関東・東京)∞∞∞

山本茂貴地区学会長（東海大学海洋学部教授）のもとで19題の発表がありました。
本県からの発表は次の2題で、斉藤守弘先生が地区学会長賞を受賞しました。

演題名：シカ肉を含む食肉動物の *Sarcocystis* 感染による食中毒の可能性
発表者：斉藤 守弘 ほか(埼玉県食肉衛生検査センター)

演題名：牛の食道パピローマの発生率・好発部位と病理組織学的及び遺伝子学的検査
発表者：佐藤孝志 ほか(埼玉県食肉衛生検査センター)

獣医公衆衛生学会での発表者



佐藤孝志先生
(衛生支部)



斉藤守弘先生
(衛生支部)

地区学会長賞受賞発表の紹介

シカ肉を含む食肉動物の *Sarcocystis* 感染による食中毒の可能性



地区学会長賞を受賞した斉藤守弘先生（衛生支部）

I. はじめに

演者らは、馬肉食中毒の病因物質が *Sarcocystis fayeri* シスト内15kDa 蛋白質であることを解明した。わが国においては、馬以外に *Sarcocystis* が存在することから獣畜等の感染肉による食中毒の可能性について究明することが急務と考えられた。今回、演者らは、わが国の牛、豚、羊およびシカとイノシシについて *Sarcocystis* 感染状況、感染数、シスト内ブラディゾイト数、下痢性毒の有無等を調査し、食中毒の可能性について調査したので報告する。

II. 材料及び方法

(1) 牛、豚、羊およびシカ由来 *Sarcocystis* 15kDa 蛋白質の調査: *S. cruzi*、*S. miescheriana*、*S. arieticanis*、*S. wapiti*、*S. sybillensis* および *S. hofmanni* シストから抽出したタンパク質について抗15kDa 蛋白質家兎血清を用いてイムノブロットを実施した。(2) 下痢性毒: 各種シストから各々150万個のブラディゾイトを採取して抽出した粗毒蛋白質をウサギ腸管結紮ループ試験に使用した。(3) *Sarcocystis* 感染率、寄生数、種類、シストの大きさとブラディゾイト数: 各種動物の感染率(肉用牛、乳用牛、繁殖豚および肥育豚がそれぞれ100頭、羊および日本ジカがそれぞれ30頭、イノシシが40頭)と1cm²当たりのシスト数、シストの大きさおよびシスト1個中のブラディゾイト数を調べた。(4) 有症苦情馬肉事例との比較: 有症苦情馬肉における1cm²当たりブラディゾイト数を算出し、得られた各種動物のブラディゾイト数を比較し、食中毒の可能性を調べた。(5) 食中毒のリスクの高いシカの調査: 埼玉県を含む4県で捕獲されたシカ総計134頭について、*Sarcocystis* 感染状況、種別感染率とブラディゾイト数を算出し、さらに、有症馬肉事例ブラディゾイト数との比較により食中毒のリスクを算出した。

III. 成績

(1) 各種 *Sarcocystis* シスト抽出液における15kDa 蛋白質に関するイムノブロットの結果: 調査した *Sarcocystis* シスト抽出液に15kDa 蛋白質の存在が証明された。(2) 下痢毒の試験結果: 調査した *Sarcocystis* シスト抽出液を用いた腸管結紮ループ試験で、すべてに下痢毒が証明された。(3) *Sarcocystis* 感染率、寄生数、種類、シストの大きさ、ブラディゾイト数の結果: 肥育豚以外すべてから *Sarcocystis* が検出され、乳用牛およびシカでは100%の感染であった。1cm²のシスト数はシカが最も多く、15個で、それ以外のものは0.3~2.1個であった。シストの大きさは、シカ寄生種 *S. hofmanni* が6,000~9,000×80~120μmと大きく、それ以外の種はいずれも2,000μm以下と微小であった。*S. hofmanni* はシスト当たりブラディゾイト数430,000個と馬寄生種 *S. fayeri* の43倍であった。(4) 食中毒のリスクの高いシカの調査: 134頭すべてに感染が認められた。種別の内訳は、*S. wapiti* が134頭で100%、*S. sybillensis* が121頭で90%、*S. hofmanni* が27頭で20%であった。馬肉有害苦情事例より算出した1cm²当たりのブラディゾイト数100万個以上の検体数は16頭で12%にみられた。食中毒リスクの高い検体は、すべての県でみられ、検出率に差はみられなかった。

学術奨励賞受賞発表の紹介

手術用顕微鏡下で造袋術を行った脊髓クモ膜嚢胞の犬の2例



学術奨励賞を受賞した灰井康佑先生 (団体支部)

I. はじめに

脊髓クモ膜嚢胞は、硬膜内で髄外に発生し、脊髓を圧迫するため進行性の不全麻痺を引き起こす疾患である。今回われわれは犬の脊髓クモ膜嚢胞に対し、手術用顕微鏡を用いて造袋術を行ったところ、クモ膜を直接確認しながら切開することができたので、小動物の脊髓外科における手術用顕微鏡の有用性を報告する。

II. 症例

症例1は、フレンチブルドッグの雄、4歳、体重は12.4kgであり、1ヵ月前からの両後肢の不全麻痺を主訴として、紹介されて来院した。初診時、歩行は可能であるものの、神経学的検査では両後肢ともに姿勢

反応が消失していた。胸腰部単純 X 線検査では、T13-L1の融合（融合椎）と L1-2の椎間腔の狭小化が認められた。MRI 検査では、T13椎体部の脊髓背側に、脊髓を背側から圧迫する嚢胞性病変が描出された。

症例 2 は、ミニチュア・ダックスフンドの雄、3 歳、体重は 5.5kg であり、左後肢を引きずりながら歩くこと、歩きながら排尿してしまうことを主訴として、紹介されて来院した。神経学的検査では、左後肢の踏み直り反応と跳び直り反応が消失していて、両後肢ともに固有位置感覚が低下していた。胸腰部単純 X 線検査では、T13-L1および L3-4の椎間腔に石灰化した椎間板が認められた。犬種から軽度の椎間板ヘルニアと考え、非ステロイド性抗炎症剤の投与と運動制限を行った。しかし、その後も不全麻痺は進行し、両後肢の姿勢反応が消失するとともに尿の失禁も激しくなったため、初診から 2 ヶ月後に MRI 検査を行った。MRI 検査では T11～T12椎体部の脊髓背側に、脊髓を背側から圧迫する嚢胞性病変が描出された。

Ⅲ. 手術および経過

両症例ともに病変部位の背側椎弓切除を行い、手術用顕微鏡を用いて、硬膜、クモ膜を確認しながら切開した。その後なるべくクモ膜を巻き込むようにして、5-0ナイロン糸で硬膜を関節突起周辺の筋肉付着部に縫合し、病変部を解放した。症例 1 は、術後約 1 年半経過した現在、正常な歩行が可能である。症例 2 は、術後 1 ヶ月以上かかったものの尿の失禁が消失した。術後 3 ヶ月を経過したところで、L3-4で椎間板ヘルニアを生じ再び両後肢の不全麻痺がみられたが、内科治療で改善した。術後約 1 年経過した現在、正常な歩行が可能である。

Ⅳ. 考察

過去にルーペ下で実施したクモ膜嚢胞の 3 症例（麻酔外科学会で発表済み）に比較し、手術用顕微鏡を使用するとクモ膜が明瞭に確認できるため、クモ膜嚢胞の切開やその後の縫合が安全かつ確実にを行うことが可能であった。

広告

家族ぐるみで、大きな安心。

獣医師専用の

保険が揃いました。



獣医師賠償責任保険

所得補償保険

団体長期障害所得補償保険

新・団体医療保険

傷害総合保険

動物病院従業員補償傷害総合保険

この内容は概要を説明したものです。詳しい内容についてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店までお問い合わせください。

問い合わせ先

幹事代理店 **株式会社安田システムサービス**

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1新宿エルタワー29F
TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700
受付時間 9:00～17:30(土・日・祝休)

引受保険会社 **損害保険ジャパン日本興亜株式会社**

団体・公務開発部第二課
〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3
TEL:03-3593-6453 FAX:03-3593-6751
受付時間 9:00～17:00(土・日・祝休)

「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

事務連絡

平成26年9月10日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

専務理事 矢ヶ崎 忠 夫

日本獣医師会ホームページ「人材募集」コーナーの拡充について

本会では、平成11年3月のインターネットホームページ開設以来、関係機関等の求人情報を提供してまいりました。現在は求人情報に特化した「人材募集」コーナーを設置して掲載申込みに応えながら情報提供に努めているところです。

従来、求人情報については官庁・自治体又は教育研究機関等の公的団体・施設・機関等の求人に限定して掲載しておりましたが、昨年新たに設置された特別委員会の一つである女性獣医師支援特別委員会において、離職した獣医師の再就職や産休・育休代替職員の確保に係る情報提供としてホームページによる求人・求職情報の提供が有効であり、本会としても更なる情報提供サービスの拡充が必要であろうとの意見が出されました。

このことを受け、ホームページでの情報提供サービスの拡充に向けた検討を開始したところですが、このたび、求人情報の掲載範囲を拡大し、従来の官庁・自治体又は教育研究機関等の公的団体・施設・機関等に加え、地方獣医師会会員が開設する動物診療施設等の求人についても掲載することといたしました。

新たに掲載可能とする「地方獣医師会会員が開設する動物診療施設等」としては、動物診療施設、臨床検査施設、動物飼育施設等を想定しており、掲載申込みをいただいた際に申込者が地方獣医師会会員であるか否かを地方獣医師会に問合せをさせていただき対応する予定ですので、よろしくお願いいたします。

貴会におかれましても、動物診療施設開設者等の関係会員による積極的な利用に向けた周知につき、何卒よろしくお願い申し上げます。

[参考]

日本獣医師会ホームページ 人材募集コーナー

<http://nichiju.lin.gr.jp/recruit/recruit.php>

人材募集掲載申し込みフォーム

https://seo.lin.gr.jp/nichiju/recruit/recruit_form.php

予 告

北支部・八日会、しゃくなげ会埼玉県支部合同学術研修会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 産2 (1) ⑧)

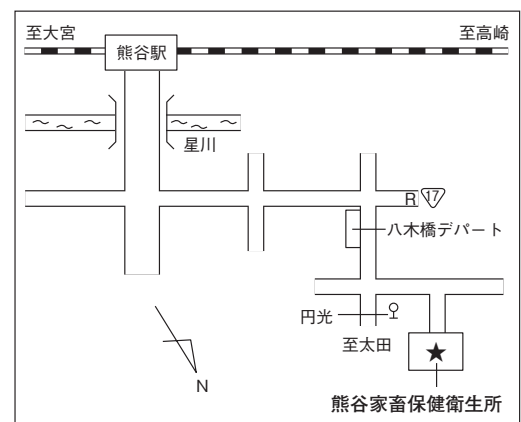
埼玉県獣医師会北支部長 大橋 邦啓

埼玉県八日会長 湯本 哲夫

しゃくなげ会埼玉県支部長 柿沼 清市

北支部・八日会、しゃくなげ会埼玉県支部では、北里大学獣医学科大動物臨床学研究室 大塚浩通先生をお招きし、合同学術研修会を開催いたします。

- 日 時** 平成26年10月17日(金)
14:30～16:30 (動物慰霊祭(13:30～)終了後)
- 場 所** 埼玉県熊谷家畜保健衛生所 講堂
熊谷市円光1-8-30
TEL: 048-521-1274
- 演 題** 子牛の免疫について
- 講 師** 酪農学園大学
大動物臨床学研究室 大塚浩通先生
- 参加費** 埼玉県獣医師会・しゃくなげ会会員 無料
上記会員以外 3,000円
- ※獣医師のみの参加にさせていただきます。



西支部学術講習会のお知らせ

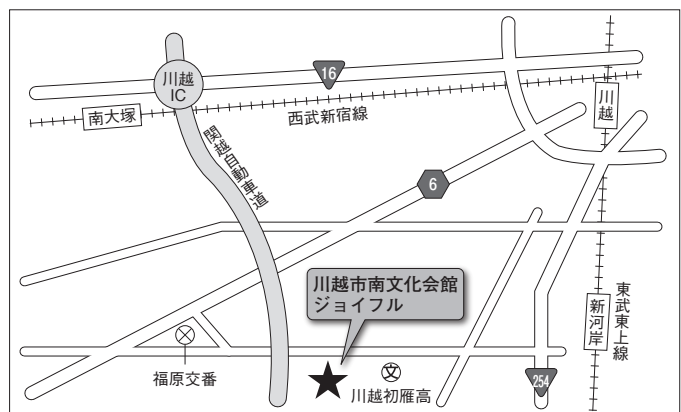
(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小3 (12))

西支部長 三森 信行

西支部では10月19日(日)に内分泌を極めるシリーズとして、東京大学の松木直章先生をお招きして「副腎疾患」の講習を行います。

お忙しいところと思いますが、多数の先生方のご参加をお待ちいたします。

- 日 時** 平成26年10月19日(日)
13:30～16:30 (13:00受付)
- 場 所** 川越市南文化会館 ジョイフル
川越市市大字今福1295-2
TEL: 049-248-4115
- 演 題** 内分泌を極める 副腎
- 講 師** 東京大学 松木直章 先生
- 参加費** 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



北支部・八日会合同学術研修会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小3 (9))

北支部長 大橋 邦啓
八日会会長 湯本 哲夫

北支部・八日会では、「違いのわかる獣医師になろう!! 前肢の歩行異常を見きわめる～とりあえずNSAIDsでいいのか?～」と題した研修会を企画いたしました。多数の先生方の出席をお待ちしております。

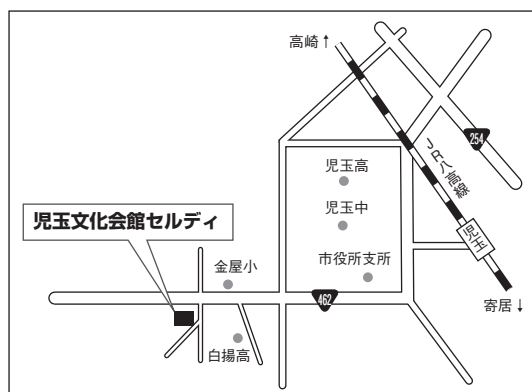
日 時 平成26年10月26日(日)
13:30～17:30

場 所 本庄市児玉文化会館「セルディ」
本庄市児玉町金屋728-2
TEL: 0495-72-8851

演 題 「違いのわかる獣医師になろう!! 前肢の歩行異常を見きわめる～とりあえずNSAIDsでいいのか?～」

講 師 日本大学生物資源科学部獣医学科
獣医外科学教室専任講師 枝村一弥 先生

参加費 埼玉県獣医師会・八日会会員 無料
会員以外の受講者 3,000円



東支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (4))

東支部長 八木 賢裕

東支部では10月26日(日)コーネル大学准教授 林慶先生(米国獣医外科専門医)をお招きし『膝蓋骨脱臼治療の合併症 橈骨・尺骨の骨折治療の合併症』と題し学術講習会を開催いたします。診療の中でも多く遭遇する整形外科疾患を中心に、できるだけ多くの症例の画像と動画を含めてご講演いただく予定です。先生方のご参加をお待ちしています。

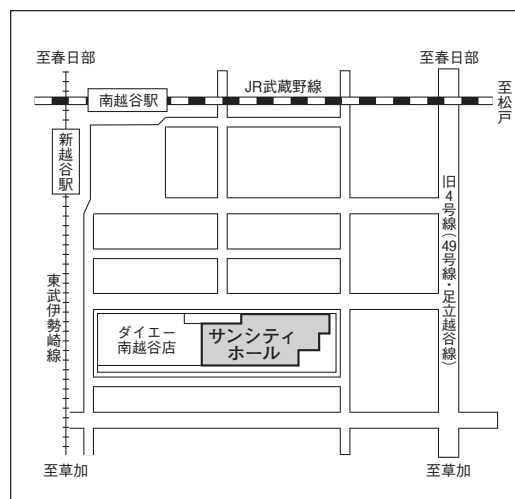
日 時 平成26年10月26日(日)
14:30～18:00頃(受付14:00～)
(講演内容、休み時間などで多少前後いたします。)

場 所 越谷サンシティ
越谷市南越谷1-2876-1
TEL: 048-985-1111

演 題 膝蓋骨脱臼治療の合併症 橈骨・尺骨の骨折治療の合併症

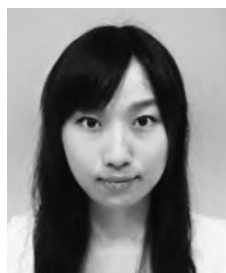
講 師 コーネル大学准教授 林 慶 先生
(米国獣医外科専門医)

参加費 埼玉県獣医師会会員 1,000円
(シラバス代、飲み物代含む)
会員以外の受講者 5,000円
(シラバス代、飲み物代含む)



新入会員報告

新 入 会 員



いわつか なおこ
岩塚 尚子
久喜市在住
団体支部



きむら ともみ
木村 友美
久喜市在住
団体支部



ほんだ あきよ
本田 明世
白岡市在住
団体支部



みやもと ゆき
宮本 有希
加須市在住
団体支部



よしかわ ゆきこ
吉川 雪子
久喜市在住
団体支部

勤務部会

支 部 名	氏 名	勤 務 先
団 体	岩 塚 尚 子	久喜市・たぐち動物病院
〃	木 村 友 美	久喜市・たぐち動物病院
〃	本 田 明 世	久喜市・たぐち動物病院
〃	宮 本 有 希	久喜市・たぐち動物病院
〃	吉 川 雪 子	久喜市・たぐち動物病院

広告

小動物医療機器のパイオニア

診察台・手術台・ケージ・各種医療機器
開業セミナー・コンサルティング

創業
75年

株式会社 本郷いわしや

〒113-0033 東京都文京区本郷5丁目2番8号
TEL:03-5800-1848 FAX:03-5800-2225

本郷いわしや

検索

ひろば

さいたま市支部学術講習会開催報告

さいたま市支部学術委員 柏瀬 匠

8月24日(日)さいたま市支部では、大宮法科大学院大学において、東京動物心臓病センターの岩永孝治先生をお招きし、「僧帽弁閉鎖不全症の外科適応と内科適応～循環器内科医の立場から～」というテーマでご講演いただきました。

講演の前半では、僧帽弁閉鎖不全症の診断と治療について、特に心エコー図検査での病態の様々なパラメータを用いた把握のしかたを解説していただきました。

後半は、多くの症例をお示しいただきました。内科療法を長期間継続した症例の、治療経過の様々な場面における治療薬の選択とその根拠、外科手術を選択した症例の手術に至るまでの過程など、具体的なお話がありました。

岩永先生、またご参加いただきました先生方に感謝申し上げます。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
22名	19名	0名	0名	2名	0名	0名	0名	1名

東支部学術講習会開催報告

東支部学術委員 佐久間昭仁

8月24日(日)久喜総合文化会館 広域展示室において東支部学術講習会を開催いたしました。

今回は、日本小動物医療センター 総合診療科、消化器科の中島 亘先生をお招きして〈犬と猫の消化器疾患 診断アプローチと治療のコツ 2014〉と題してご講演をいただきました。

下痢と吐き気は、我々毎日のように見ている症状であります。ただその診断は多種にわたり、血液糞便検査から内視鏡、超音波の検査のコツを教えていただき、その大切さをあらためて感じた講義内容でした。

また、日々の診察のお忙しい中、ご講演をいただきました中島先生に深くお礼を申し上げるとともに、会場のお手伝いをしていただいた先生、そしてご参加していただいた先生方にも併せて感謝いたします。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
66名	2名	0名	0名	2名	1名	42名	18名	1名

平成26年度関東・東京合同地区獣医師会 親善チャリティーゴルフコンペ参加報告

(公社) 埼玉県獣医師会ゴルフ同好会会長

さいたま市支部 小堺 正人

平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会が夏の暑さも一段落した甲府市にて盛況に開催された翌9月8日(月曜日)、富士山の絶景が雲で見え隠れし、涼しいながらあいにくな天候の下、山梨県獣医師会ゴルフ同好会の主催による親善チャリティーゴルフコンペが7都県2政令指定都市獣医師会会員99名の参加の下で開催され、私ども(公社)埼玉県獣医師会ゴルフ同好会より14名が参加してまいりました。

上位4名のグロススコアで争う団体戦では、去年の成績を上回り3位表彰を受けるとともに、新ペリア集計での個人戦においても、さいたま市支部小堺正人先生が準優勝、第5位に北支部小島満先生、第9位に西支部岡田かおり先生が入賞し、5位毎の飛び賞も参加者多数が受賞するという優秀な成績を残すことが出来ました。中でも、岡田かおり先生は女性の優秀賞を総なめにする活躍でした。

また、ニアピン賞を西支部の豊泉正重先生が獲得しました。和やかな雰囲気で行われた懇親会の後、記念写真を撮影いたしました。

来年度、横浜市獣医師会主催の大会で、念願の団体戦初優勝を果たすべくさらなる精進をしていきたいと思ひます。

団体戦結果	優 勝	千葉県獣医師会	339ストローク	六 位	茨城県獣医師会
	準優勝	東京都獣医師会	341ストローク	七 位	川崎市獣医師会
	三 位	埼玉県獣医師会	343ストローク	八 位	山梨県獣医師会
	四 位	神奈川県獣医師会	348ストローク	九 位	群馬県獣医師会
	五 位	横浜市獣医師会	359ストローク		

埼玉県獣医師会グロス上位4名

小堺正人 78(40・38) 小島 満 87(46・41) 斉藤良幸 88(44・44) 友成公一 90(45・45)



左から前列 岡田かおり先生(西支部)、小堺正人先生(さいたま市支部)、新井宣明先生(さいたま市支部)
中列 小島満先生(北支部)、渋谷正志先生(東支部)、大野秀樹先生(北支部)、斉藤良幸先生(農林支部)、石井渉先生(さいたま市支部)
後列 友成公一先生(南第一支部)、中村久江先生(団体支部)、高橋秀児先生(東支部)、森田良先生(東支部)、長谷川繁雄先生(東支部)
円内は、豊泉正重先生(西支部)

お知らせ

26日獣発第172号

平成26年9月17日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会長 藏内 勇夫

(公印及び契印の押印は省略)

日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム開催のご案内

すでにご案内のとおり、安全で安心な社会の構築に貢献するため、昨年11月20日に本会は日本医師会と学術協力推進のための協定書を締結し、医師会と獣医師会、医師と獣医師の緊密な連携の構築を推進しているところです。

その一環として、このたび、日本医師会・日本獣医師会の主催により、医師及び獣医師、学生等を対象とする連携推進シンポジウムを下記のとおり開催することといたしましたので、貴会会員獣医師に周知の上、多くの方々に参加いただきますようご案内方よろしく願いいたします。

なお、参加に当たっては事前参加登録(無料)をお願いしております。お手数でもとりまとめの上、別紙「事前参加登録申込書(団体用)」に必要事項をご記入いただき、本年10月20日(月)までに本会あてお送りくださいますよう、併せてよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 開催日時：平成26年10月28日(火) 9:30~12:30
- 2 開催場所：日比谷公会堂(東京都千代田区日比谷公園1-3、Tel.03-3591-6388)
 - ・東京メトロ丸ノ内線「霞ヶ関駅」徒歩5分
 - ・JR 山手線「有楽町駅」または「新橋駅」徒歩15分、他
- 3 講演内容：別添リーフレットのとおり

(事務局より)

本シンポジウムは、日本獣医師会が特別委員会を設置し、重点課題として推進している「医師会との連携推進」の一環として開催されるものです。

開業会員の先生方に於かれましては、大変お忙しいこととは存じますが、勤務獣医師、動物看護師さんもお誘いあわせの上、積極的な参加をお願いします。また、勤務部会の先生方に於かれましても、併せて御参加の程、宜しくをお願いします。

なお、参加を希望される方は事前登録が必要ですので、埼玉県獣医師会事務局まで電話等により御連絡ください。

電話 048-645-1906

FAX 048-648-1865

メール s-vma@vesta.ocn.ne.jp

参加費無料・当日受付可

日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム

一人と動物の共通感染症を考えるー

狂犬病の現状と対策

日本医師会と日本獣医師会は、安全で安心な社会の構築に寄与するため、「One World One Health」の理念に基づく医学と獣医学が一体となった取組みを推進しており、このたび本シンポジウムを開催することといたしました。

日時：平成26年10月28日（火）9：30～12：30

会場：日比谷公会堂（東京都千代田区日比谷公園1-3）

東京メトロ日比谷線、千代田線「日比谷駅」下車A14出口より徒歩3分・都営地下鉄三田線「内幸町駅」下車A7出口より徒歩2分
東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線「霞ヶ関駅」下車B2出口より徒歩5分・A5出口より徒歩6分・C1出口より徒歩3分

挨拶：公益社団法人 日本医師会 横倉義武会長

公益社団法人 日本獣医師会 藏内勇夫会長

講演：「我が国における狂犬病対策の現状と課題」

井上 智先生（国立感染症研究所獣医科学部第二室室長）

「台湾における狂犬病発生の現状と課題」

費 昌勇 先生（台湾大学教授・台湾狂犬病専門家会議議長）

「世界における狂犬病発生制御の現状と課題」

Emmanuelle Robardet 先生

（狂犬病WHOコラボレーティングセンター・フランス）

「我が国で36年ぶりに発症した人の狂犬病事例と対応上の課題」

二宮 清先生（洛和会ヘルスケアシステム 洛和会丸太町病院院長）

「狂犬病の病原性と予防、治療の現況」

西園 晃先生（大分大学医学部微生物学講座教授）

主催：公益社団法人 日本医師会
公益社団法人 日本獣医師会

共催：公益社団法人 東京都獣医師会
人と動物の共通感染症研究会

シンポジウムに関する問い合わせ先

公益社団法人日本獣医師会 事務局（担当／駒田・守尾）

TEL 03(3475)1601 FAX 03(3475)1604 E-mail : ask@nichiju. or. jp

彩の国 さいたま

動物愛護

動物クイズや
記念品もあるよ



フェスティバル 2014



日時：10月26日（日）
午前10時～午後3時

場所：桶川市立桶川小学校
桶川市西 1-4-27

主催：埼玉県
共催：鴻巣保健所管内鴻巣狂犬病予防協会
後援：公益社団法人埼玉県獣医師会

どうぶつ
**動物と
ふれあおう**
ウサギ・モルモット
とのふれあい

**みて・きいて
まなぼう**
じゅう い たい けん
獣医さん体験
ちゅう どう けん
聴導犬のお話と実演

たのしもう
き ねん しゃ しん
コバトン記念写真
お り が み
モール・バルーン・折り紙
ふく わ じつ
腹話術・マジックなど



駐車場は市役所をご利用ください。
なお、会場内にペットは入場できません。

切り抜きニュース

殺処分ゼロを きょうから動物愛護週間 県が命の大切さ呼び掛け

動物愛護週間(20～26日)を前にして、県は18日、さいたま市浦和区のJR浦和駅コンコースで、動物の適正な飼養や命の大切さなどを呼び掛ける街頭キャンペーンを実施した。

キャンペーンには県職員、イヌやネコの正しい飼い方などをアドバイスしている県の動物愛護推進員、協賛企業の社員、県のマスコットコバトンが参加。駅利用者らに啓発用絵はがき3千枚とウェットティッシュ3千個を配りながら、動物愛護への理解を求めた。

県は2008年に県動物愛護管理推進計画を策定。最終的に殺処分数ゼロに向け、削減を重要課題としている。取り組みとして、①飼育放棄を求める飼い主を粘り強く説得し、動物収容施設に入れない②迷子になった動物を飼い主へ返す③県動物指導センター(熊谷市)を中心に、処分を待つイヌ、ネコに新しい飼い主を見つけることに力を入れ、具体策を講じてきた。

県生活衛生課によると、県内の殺処分数は06年度のイヌ、ネコ合わせて9118匹から11年度には4367匹にまで減少。同課は県のホームページを通じた新しい飼い主探しや迷子動物の情報提供、マイクロ・チップの装着の普及促進、動物愛護団体との連携などを要因として挙げている。13年度は2430匹となり、16年度までに千匹未満にする目標を立てている。

イヌ2匹、ネコ4匹を飼っているという久喜市の県動物愛護推進員の女性は「人間の都合で安易に飼ったり手放してはいけない。最期まで面倒を見ることが大切」と話している。10月26日には、桶川市西の同市立桶川小学校で動物愛護フェスティバルが開かれる。動物と触れ合ったり、聴導犬について知ることができたり、獣医の体験コー

ナーもある。

問い合わせは、県動物指導センター(☎048・536・2466)へ。



動物愛護週間を前にして行われた街頭キャンペーン—18日、さいたま市浦和区のJR浦和駅

(砂生敏一)

埼玉新聞 9月20日

盲導犬刺されけが 埼玉で先月 器物損壊容疑で捜査

さいたま市の全盲の男性(61)が連れていた盲導犬が先月、何者かに刺され、けがをする事件があったことが分かった。男性が仕事先に向かう電車内で被害に遭った可能性が高いとされるが、訓練された盲導犬のため事件当時もほえるのを我慢したとみられる。県警武南署は悪質だとして器物損壊容疑で捜査している。

刺された盲導犬はラブラドルレトリバーの雄で9歳の「オスカー」。同署によると、右の腰付近を先のとがったもので数カ所刺されたとみられる。

男性は7月28日午前11時ごろ、さいたま市の自宅を出てJR浦和駅から電車に乗り、東川口駅(埼玉県川口市)で下車。同駅近くのコンビニエンスストアに寄って仕事先に到着した際、同僚がオスカーの着ていたシャツに血が付いているのを見つけた。シャツには穴は開いていなかったという。コンビニの防犯カメラには血の付いたシャツを着

たオスカーが映っており、同署は電車内で刺された可能性が高いとみている。

動物への虐待を巡っては、動物愛護法違反罪(2年以下の懲役か200万円以下の罰金)も適用されるが、悪質なケースや飼い主が明確な場合などは器物損壊罪(3年以下の懲役か30万円以下の罰金もしくは科料)が適用される。

男性の知人で、警察の事情聴取に同席した動物愛護団体役員の佐藤徳寿さん(43)によると、男性は「事件のショックで外に出るのが怖い。卑劣な行為で、犯人には罪を償ってほしい」と話していたという。

武南署は「盲導犬は飼い主や周囲に迷惑をかけないように、むやみにほえないよう訓練されている。(それを知って狙ったなら)非常に悪質だ」としている。



被害にあった盲導犬「オスカー」



刺されたとみられるけがの部位=いずれも佐藤徳寿さん提供

(川畑さおり、垂水友里香)

利用者「周囲の人声上げて」

悪質いたずら過去にも

全国に11ある盲導犬育成団体の一つの「日本ライトハウス」(大阪市)によると、盲導犬に対する悪質いたずらは初めてではないという。最近10年間で顔を蹴られたり、歩行中にしっぽを引っ張られたりしたなどのいたずらが数件報告されて

いる。

同ハウスの盲導犬訓練所の赤川芳子所長代理は「十数年前には盲導犬にたばこの火を押しつける場面がある映画の公開後、香川県などで数件まねしたような被害が出た。今回も模倣する人が出るのでは」と懸念する。今回被害に遭ったオスカーを訓練した育成団体「アイメイト協会」(東京都)の関係者も「これまでもたばこの火を押しつけられたり他のペットにかみつかれたりという盲導犬被害は多々あった」と明かす。

また、福岡県内の女性(43)は、2010年4月、地下鉄で移動中に盲導犬の顔にペンで落書きされたことがある。目の辺りが丸く囲まれ、鼻の下には線が書かれていたという。女性は「目が見えないことと、盲導犬がおとなしいことにつけ込まれた。今回の被害男性も私と同じ悔しさを味わったはずで、周囲の人が気づいたら声を上げてほしい」と話した。

(垂水友里香、木村敦彦)

毎日新聞 8月28日

盲導犬 今こそ知って

関係者「『痛くてもほえない』は誤解」 埼玉の事件 広がる支援の輪

さいたま市の全盲男性(61)の盲導犬「オスカー」がけがをした事件から、1カ月余り。刺されたような傷が見つかる前に鳴き声が聞こえなかったため、思わぬ風評が広がった。関係者も困惑する。〈「何をされてもほえないように訓練されている」という誤った記述が多く見かけられますが、こういった訓練は一切行っていません〉

八つの盲導犬団体などからなるNPO法人「全国盲導犬施設連合会」は今月初旬、こんな声明を出した。事件後、「痛くてもほえない訓練をしているなんて、かわいそう」などと、動物虐待を思

わせるような意見が寄せられたためだ。

連合会に加盟する日本盲導犬協会の理事、吉川明さん(62)は「無駄にほえないよう訓練はする。しかし痛みを我慢させるような訓練は一切していない」。

オスカーを育てたアイメイト協会職員の塩屋未来さん(35)は、鳴かなかった理由について「とっさのことで驚いて声も出なかったのかもしれない」と推測する。協会には応援や激励の声も届いており、事件を機に「盲導犬や視覚障害者への支援や理解の輪が、社会に広がれば」と期待する。

一方、事件が報じられた8月下旬から、埼玉県警武南署には連日のように「早く捕まえて」という電話がかかり続け、9月上旬で100件を超えた。「人間の子どもが刺されたのと同じこと」。早期解決を願う奈良県からの手紙には、そうつぶられていた。

支援の申し出も後を絶たない。京都府の親子からは「盲導犬の治療費にあてて」と、現金書留で2万円が届いた。三重県の男性からも数千円分の商品券カードが。今後、署がオスカーのパートナーの男性に渡す予定だ。男性は「盲導犬に対する理解を深めてもらうための活動に寄付したい」と話している。

「犯人逮捕のための懸賞金として使ってほしい」

川口市で造園会社を営む金子和平さん(67)は4日、署を訪れ、犬好きの従業員4人と工面した、現金100万円を持参した。制度上、警察の懸賞金(捜査特別報酬制度)は、寄付金を元手にできない。現金は金子さんが持ち帰ったが、県警刑事総務課によると、任意の団体を設立して私的な懸賞金とすることはできる。「意向を尊重できるよう、過去の例などをお教えしたい」としている。



日本盲導犬協会の神奈川訓練センターでは現在、約50頭に盲導犬訓練を行っている＝横浜市港北区

朝日新聞 9月13日

熱帯ウイルス拡散危機 発達交通網が感染助長

「感染者が蚊に刺されたという渋谷門付近には近づかないようにしている。一応、虫よけスプレーもしている」。東京都渋谷区の代々木公園のベンチで、日光浴をしていたアルバイトの男性(30)はこう話した。

いつもより、閑散とした公園。中でダンスの練習をする若者らの姿も。蚊は怖くないのか。ダンサーの男性(20)は「東京都が殺虫剤をまくなどの対策をとってくれているので、逆にここが安全かなと」。

デング熱の約70年ぶりの国内での感染者が見つかったのは、先月26日。その後も感染者は全国で相次いで見つかった。今月2日には、40人に迫ろうという勢いだ。いずれも代々木公園やその周辺を訪れており、その際にウイルスを媒介する蚊に刺されたとみられている。

タレントにも感染者が出た。青木英李さん(25)と紗綾さん(20)だ。TBSの情報番組「王様のブランチ」のリポーターとして、先月21日に園内で収録中に蚊に刺されたという。

デング熱はまれに重症化することもある。川崎

市健康安全研究所の岡部信彦所長は「デングウイルスには四つの型がある。ある型に感染した後に別の型に感染すると、鼻や歯茎などから出血する『デング出血熱』にかかるなど、重症化する人もごく少数いる」と指摘する。

なぜ感染者が急増しているのか。海外で感染し日本に入国した人を、複数の蚊が刺し、広がったとみられている。日本に帰国後に発症した人の数は2013年に249人。00年の18人から激増している。

さらに、代々木公園のような樹木ややぶ、水場がある場所は、ヒトスジシマカが好む。そこに、帰国した人らが大量やってくる。岡部氏は「ヒトスジシマカが別の人にウイルスを感染させる確率が高まっていた」と指摘する。

地球温暖化の影響もありそうだ。ヒトスジシマカの生息地域が北上しつつある。国立感染症研究所(感染研)の調べでは、1950年には栃木県が北限だったのが、2010年には青森県の一部に達した。

厚生労働省は、「過度に怖がることはない」としつつ、蚊に刺されて高熱が出た場合は、早めに医療機関で受診するよう呼び掛けている。

ほかの感染症の脅威も忍び寄る。

マダニが媒介する「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」のウイルス。感染研によると、今年7月までに、85人の感染者が報告されており、うち26人が死亡している。

西ナイル熱もある。害虫防除技術研究所の白井良和所長は「感染者が分布するのは、アフリカや中央アジアなどだが、日本のヒトスジシマカもウイルスを媒介する。いったん入り込んだら日本でも広がりかねない」と懸念する。

死亡率30～50%という黄熱病についても、「黄熱病はネッタイシマカが媒介する。ネッタイシマカは今では日本に生息していないが、気温の上昇が続けば、活動できるようになるかもしれない」。



④注意を呼び掛ける張り紙の近くで日光浴をする若者
⑤調査のため蚊を採集する装置を設置する都職員＝いずれも2日、東京都渋谷区の代々木公園で



温暖化…媒介主の生息域北上

感染症の時代が到来したのか。日本で、約70年ぶりに国内での感染が確認されたデング熱の感染者が急増。アフリカでは、エボラ出血熱が猛威をふるう。地球温暖化や交通網発達などの影響で、熱帯地域を発生源とする感染症が、日本にも伝わる危険性が高まっている。現代社会を襲う「熱帯ウイルス」の脅威とは。(林啓太、上田千秋)

ヒトスジシマカの分布の北限



国立感染症研究所の資料から



デング熱のウイルスを媒介するヒトスジシマカ=国立感染症研究所 昆虫医科学部提供

森林開発…「新型」出現リスク増

世界でも感染症が猛威をふるっている。特に西アフリカで感染者が続出しているエボラ出血熱は、深刻化。世界保健機関(WHO)のまとめによると、昨年12月にギニアで感染者が出て以降、リベリア、シエラレオネ、ナイジェリア、セネガルの4カ国にも拡大。先月26日時点の感染者は疑い例を含めて3069人に上り、うち死者は1552人を数える。

問題は感染力が強いのに加え、治療する可能性が低いことだ。致死率は最高で90%とされ、今回の流行でもおよそ50%の人が亡くなっている。W

H Oは6～9カ月での収束を目指すとしながらも、感染者は最終的に2万人を超える恐れがあるとの見解を明らかにしている。

長崎大熱帯医学研究所の安田二郎教授(ウイルス学)は流行がなかなか収まらない背景を、現地の医療事情や独特の風習などにあるとみる。医師や看護師の数が少ない上に、設備も不十分。安田氏は「エボラ出血熱を初めて経験する国が多く、政府がどう対応しているかわからない上に、住民に正確な情報が伝わっていない。葬儀の時に体に触れて見送る習慣があることも感染を広げる一因になっている」と指摘する。

従来は、森林の奥地の村など閉鎖的な地域での発生が多かったのに対し、今回は人の出入りが頻繁な都市部で感染者が出たことも被害を拡大させている。

サウジアラビアでは12年、中東呼吸器症候群(M E R S)と呼ばれる新種の感染症が発見された。02～03年に中国などで大流行した新型肺炎(S A R S)を引き起こすウイルスと同じ仲間のコロナウイルスが原因とされ、中東各地に広がり、欧米やフィリピン、マレーシアなどでも感染者が出ている。

今年4月をピークに感染者が減少したため、W H Oは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態には至っていない」とのコメンをを発表したが、状況は深刻さを増しているとの認識も併せて示した。

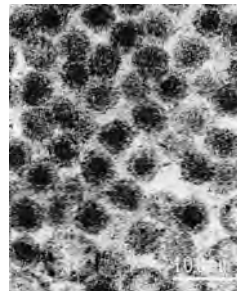
世界で感染症が流行する現状は、今後も続くのか。元北海道小樽市保健所長で医学ジャーナリストの^{とおかつひと}外岡立人氏は「アフリカや東南アジアなどで森林開発が進み、ウイルスの宿主である野生動物と人間が接触する機会が増えた。変異によって新しいウイルスが出現する可能性もあり、今後も傾向は変わらないだろう」と説く。

以前に比べてヒトやモノの移動が増えた今、日本でもエボラ出血熱の患者が出るのが考えられる。厚生労働省は、全国の検疫所に、対応強化を指示。都道府県には、疑われるケースが出た場合は、感染研に検査を依頼するよう要請した。成田空港では、体温が一定以上になると赤く表示されるサーモグラフィーを設置した。

外岡氏は「検疫が整っていて、医療体制も充実している先進国で流行する可能性は極めて低い」と話す。「国民一人一人が正確な情報を知っておくことが何よりも大切。例えばエボラ出血熱なら感染者に接触しないようにするなど、どういう状況で感染するか分かっていればパニックも起きず、被害は最小限で食い止められる。その一方で、当該国だけでは対応できないエボラ出血熱を収束させるため、世界各国が自分たちの問題としてとらえて積極的に支援していく必要がある」



8月29日、リベリアの首都モンロビアで、エボラ出血熱により死亡したとみられる男性の家の前に立つ当局者ら＝A P



⑥デング熱のウイルス＝国立感染症研究所提供

⑦エボラウイルス＝米疾病対策センター提供(A P)



デスクメモ

昭和の蚊帳が懐かしい。最近は蚊がずいぶん少なくなったと思っていた。下水道が整備され、住居は気密性が高くなった。手足に蚊に刺された痕のある人もあまり見ない。しかし、側溝で公園で蚊はしぶとく生き残っていたようだ。人類への警告なのか。パニックになる必要はないが、正しく怖がりたい。(国)

平成26年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成26年 9 月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
6 月14日(土) ～15日(日)	第88回獣医麻酔外科学会／第100回日本獣医循環器学会／第55回日本獣医画像診断学会 2014春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
6 月22日(日)		南第一支部・南第二支部 「獣医病理学をもっと身近に感じるために ～専門医の立場から～」 どうぶつの総合病院病理科 近藤広孝 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
8 月24日(日)		さいたま市支部 「僧帽弁閉鎖不全症の外科適応と内科適応 ～循環器内科医の立場から～」 東京動物心臓病センター日本獣医循環器 学会認定医 岩永孝治 先生 (さいたま市 大宮法科大学院大学)	
8 月24日(日)		東支部 「犬と猫の消化管疾患診断アプローチと 治療のコツ2014」 日本小動物医療センター消化器科 中島亘 先生 (久喜市 久喜総合文化会館)	
9 月 7 日(日)	平成26年度 関東・東京合同地区獣医師大会 (山梨) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (山梨県中巨摩郡昭和町 アビオ)		
9 月21日(日)		東支部 「犬種別眼科疾患：柴犬・シーズー」 どうぶつ眼科Eye Vet 小林一郎 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月17日(金)	北支部・八日会、しゃくなげ会 埼玉県支部 「子牛の免疫について」 酪農学園大学 大塚浩通 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
10月19日(日)		西支部 「内分泌を極める 副腎」 東京大学 松木直章 先生 (川越市 川越南文化会館)	
10月26日(日)		北支部・八日会 「違いのわかる獣医師になろう!! 前肢の歩行異常を見きわめる」 日本大学生物資源科学部獣医学科 枝村一弥 先生 (本庄市 児玉文化会館セルディ)	
10月26日(日)		東支部 「膝蓋骨脱臼治療の合併症 橈骨・尺骨の骨折治療の合併症」 コーネル大学 (米国獣医外科専門医) 林慶 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
12月 7 日(日)		南第一支部・南第二支部 「動画から学ぶ! 犬および猫の上部呼吸器疾患について」 日本獣医生命科学大学 藤田道郎 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
12月14日(日)		北支部・八日会 「違いのわかる獣医師になろう!! 後肢の歩行異常を見きわめる」 日本大学生物資源科学部獣医学科 枝村一弥 先生 (本庄市 本庄商工会議所)	
12月21日(日)		西支部 「内分泌を極める 甲状腺」 東京大学 松木直章 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月	農林支部 平成26年度埼玉県家畜保健 衛生業績発表会		
平成27年 2 月 1 日(日)		さいたま市支部 「演題：未定」 近藤広孝 先生 (場所：未定)	
2 月13日(金) ～15日(日)	平成26年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (岡山) (岡山市 岡山コンベンションセンターほか)		
2 月	農林支部 関東甲信越家保業績発表会		衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3 月 8 日(日)		西支部 「麻酔・周術期管理」 小動物麻酔鎮静サポート 長浜正太郎 先生 (川越市 川越南文化会館)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

8月24日	さいたま市支部学術講習会（さいたま市 大宮法科大学院大学）		支部合同学術研修会（熊谷市 熊谷家畜保健衛生所）
8月24日	東支部学術講習会（久喜市 久喜総合文化会館）	10月19日	西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館）
8月28日	狂犬病予防体制整備特別委員会（第3回）（東京都港区 日本獣医師会）	10月23日	（予定）第3回理事会（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園）
9月2日	2014動物感謝デーin JAPAN出展者説明会（東京都港区 日本獣医師会）	10月26日	彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2014（桶川市 桶川市立桶川小学校）
9月7日	平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会（山梨）、獣医学術関東・東京合同地区学会（山梨県中巨摩郡昭和町 アピオ）	10月26日	北支部・八日会合同学術研修会（本庄市 児玉文化会館セルディ）
9月12日	平成26年度第1回畜産懇話会（さいたま市 別所沼会館ヘリテイジ浦和）	10月26日	東支部学術講習会（越谷市 越谷サンシティ）
9月16日	動物感謝デー企画検討委員会（東京都港区 日本獣医師会）	10月28日	日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム（東京都千代田区 日比谷公会堂）
9月19日	日本獣医師会第3回理事会（東京都港区 日本獣医師会）	11月19日	小動物臨床講習会「平成26年度集合狂犬病予防注射実施者講習会」（さいたま市 大宮ソニックシティ）
9月21日	東支部学術講習会（越谷市 越谷サンシティ）	11月21日	（予定）日本獣医師会新規獣医師臨床研修促進事業（熊谷市 マロウドイン熊谷）
9月25日	第15回日本獣医師会総務委員会（東京都港区 日本獣医師会）	12月7日	南第一支部・南第二支部合同学術講習会（さいたま市 埼玉会館）
10月3日	日本獣医師会第2回全国獣医師会会長会議（東京都港区 明治記念館）	12月12日	（予定）日本獣医師会第4回理事会（東京都港区 日本獣医師会）
10月4日	日本獣医師会主催2014動物感謝デーin JAPAN（東京都世田谷区 都立駒沢オリンピック公園）	12月14日	北支部・八日会合同学術研修会（本庄市 本庄商工会議所）
10月9日	第2回獣医事調査委員会（さいたま市 埼玉県農業共済会館）	12月21日	西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館）
10月10日	教育課程編成委員会（東京都世田谷区 学校法人シモゾノ学園）	平成27年	
10月13日	第1回厚生委員会（吉見町 吉見総合運動公園）	2月1日	さいたま市支部学術講習会（場所 未定）
10月13日	第37回埼玉県獣医師会ソフトボール大会（吉見町 吉見総合運動公園）	2月13日～15日	平成26年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（岡山）（岡山県岡山市 岡山コンベンションセンターほか）
10月16日	埼玉新聞創刊70周年記念式典（さいたま市 浦和ロイヤルパインズホテル）	3月8日	西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館）
10月17日	北支部・八日会、しゃくなげ会埼玉県		

編集後記

やっと過ごしやすくなったと思ったら、もう冬着が欲しくなって来た。秋を十分に味わうことが出来ないほど季節の変化が速い。秋は虫の鳴き声を聞きながら夜長をのんびりと満喫したいものである。

9月はお彼岸の月である。年がたつのは早いもので、埼玉県獣医師会にとって、また日本獣医師会にとっても忘れてはならない偉大なる指導者、五十嵐幸男名誉会長が逝った月でもある、佐谷田の方角に合掌!!

甲子園の高校野球が終わり寂しさを感じていたら、急に24歳の錦織圭選手が日本中の国民の熱い思いを奮い立たせてくれた。全米オープン、優勝は逃したものの全国に清々しい夢を与えてくれた。これからも戦いは続く様だが、何れ4大大会でも優勝することでしょう。彼の言葉や態度をみても24歳とは思えないしっかりしたもので、さすが世界で長年戦っている若者だ。スケートの浅田選手、羽生選手、ヤンキースの田中選手もそうだが「今どきの若い者は・・・」と良く言っているが、みんなたいしたもののである。

反面、若者が登校拒否、ニート、両親への暴力、殺害など、その行動が問題になっている。親も社会もこの青年達の様に子供の時からしっかりと目的を持たせて育てる様に出来れば不幸な事も減るのではないだろうか?、将来は何になるの?の問いに答えられない若者が多過ぎる。

どうした、朝日新聞!!、新聞の報道は信頼して読んでいた。拙文を書く者でさえ活字にするには少なくとも裏付けを取ってから書く。多くの読者を裏切った。ここぞとばかり書き立てて、活字の暴力を投げかけていた。他のメディアもこれを機会に襟を正して欲しい。

コメの生産者価格が大暴落だ。県内で一番高値のはずの北川辺農協のコシヒカリの買い上げが60キロで8100円だそうだ。何故なのか? 米作農家を取り巻く環境は厳しい、後継者もいない。高齢農家はやめる時期を考えている。しかし、田んぼを雑草だらけには出来ない。燃料代、肥料代、種苗代、用水路・悪水路代、税金を差し引いたら赤字だ。当然機械代の償却は出来ない。このままだと田圃が消える。農耕民族の日本からコメを取ったら何が残る? 他の農家にも影響は必至だろう。我々獣医師の相手

とする畜産も、3Kで減少の一途をたどるだけ。穀物全てを輸入に頼ってイイのか? 今、多くの人が地球の変動を感じているはずだ。田圃の果たす役割は作物の生産に限らず、台風や豪雨に対する保水機能、寒暖への緩衝作用、生態系の保全など自然環境への恩恵は計り知れないものがある。日本国全体の問題でもある。もう後は無い、今だからこそ食は自前で補う努力をしないといけないのではないだろうか?

去る9月7日に関東・東京合同地区獣医師大会・学会が甲府で開催された。本会からは獣医公衆衛生学会で保健医療部の斎藤守弘先生が地区学会長賞に、小動物獣医学会ではとがさき動物病院の灰井康佑先生が学術奨励賞を受賞された。おめでとうございます。来年2月13日~15日まで開催される日本獣医師会獣医学術学会年次大会の岡山大会では是非頑張ってください。

これから各組織では様々な学会や講習会が開催されるが、10月4日(土)は日獣の動物感謝デー in Japanが駒沢公園で、10月26日(日)には埼玉県動物愛護フェスティバルが桶川市の桶川小学校で、10月28日(火)には9:30から日比谷公会堂で日本獣医師会の初めての取り組みとして“人と動物の共通感染症を考える”と銘打って日本医師会との連携によるシンポジウムが開催される。開業に限らず、勤務医、公務員、VTのどなたでも参加出来ます。是非興味のある方は参加して下さい。

また、例年開催されている集合狂犬病予防注射実施者講習会は11月19日(水)ソニックシティ小ホールで開催される。今回は時代の流れとともに我々獣医療を取り巻く環境が大きく変化しつつある中、夏の東京大学での講演を聞きその内容が大きく心に残った会員もあり、特に開業の先生方へ今後の業務への取り組み方の一助になればということで、獣医師でもある氏政雄輝先生にお話を伺うこととなった。是非、多くの先生方のご出席をお願いします。

さて、スポーツの秋です。アジア大会も開催中ですが、10月13日(月:祝)には厚生委員会主催のソフトボール大会が吉見総合運動公園グラウンドで開催されます。バーベキューも盛大に出来ますよ、青空の下で一日楽しもうではありませんか。

(不動)

お薬なのに、待ちきれない。

ノミ・マダニ駆除薬に、おいしい大発明。



フロントラインシリーズ

NexGard®

ネクスガード®



販売元

日本全薬工業株式会社
ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

製造販売業者

MERIAL メリアル・ジャパン株式会社
東京都新宿区西新宿3-20-2

製品に関するお問い合わせ

0120-499-419
フリーコール

ヨ クキク ヨ イクスリ

月～金
9:00～12:00
13:00～17:00

©メリアルの所有登録商標



日本獣医師会・獣医師会活動指針

－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

代表取締役 高野恵一

URL : www.zenoaq.jp

動物病院・ペットショップなどのペット環境および施設の衛生管理に — ペットクリーンナビ

PET CLEAN NAVI



M MORIKUBO



消臭・除菌
ウイルス除去

二酸化塩素水

安心のペット環境づくりに。
同梱のタブレットを溶解してご使用ください。

電解アルカリイオン水

洗浄・除菌

ペットと環境に優しいのに驚きの洗浄力！
二度拭きいらずの洗浄・除菌水。



スプレー各1本入りの
お得なセット



【容 量】 各 100 mL

M 森久保薬品株式会社 神奈川県厚木市栄町 1-8-17
TEL : 046-222-2333(代)

東京 : 042-564-2381 埼玉 : 04-2968-0881 三郷 : 048-948-2112 神奈川 : 046-221-0620 ツクバ : 0296-43-1661
山梨 : 055-224-5278 群馬 : 027-230-3322 栃木 : 028-666-3399 茨城 : 029-241-3131 成田 : 0476-40-5811 茂原 : 0475-24-1613